

東奥日報

2022年(令和4年)12月13日(火曜日) (17)

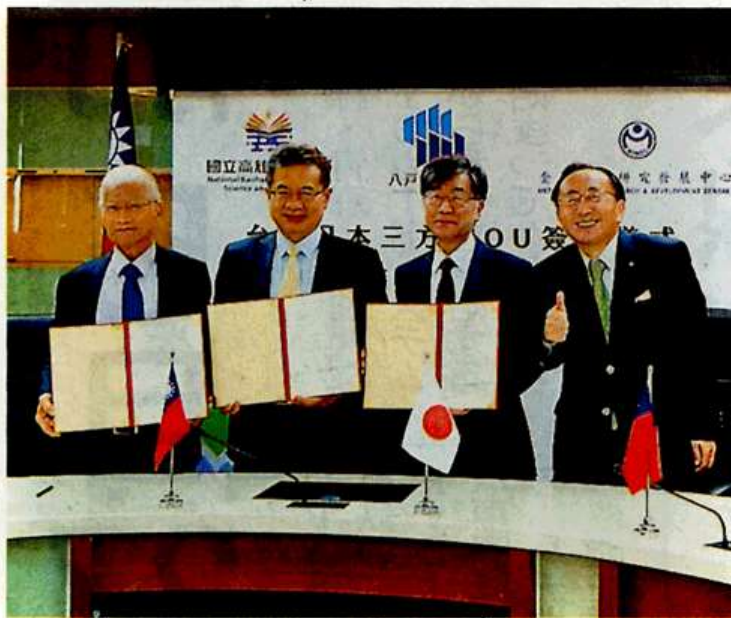
共同研究で課題解決へ

八工大 台湾の大学、機関と覚書

八戸市の八戸工業大学（坂本禎智学長）は12日、台湾の高雄科技大学と研究機関・金属工業研究発展中心（金属センター）の2者と覚書を締結した。3者は交換留学やシンポジウム開催で協力し、持続可能な開発目標（SDGs）やカーボンニュートラルなどの分野で共同研究に取り組む。八工大から台湾の大学と

連携したいと相談を受けた県が、事業委託などで関わりのおった金属センターに連携先の紹介を依頼した。高雄科大は海外の大学と連携しており、日本では大阪大や早稲田大など42校と交流している。

同日、高雄市の高雄科大で締結式を行い、坂本学長や三村申吾知事、高雄科大の楊慶煜学長、金属セ



ンターの林仁益董事長が出席。来年をめどに、八戸市でのシンポジウム開催を目指す。坂本学長は「知的資源、財産の融合につながり、新たなアイデアや価値観の

創出に結びつく」と期待している」と話した。（小泉結香）

覚書を締結した（左から）林董事長、楊学長、坂本学長と締結に立ち会った三村知事（県提供）

※ 「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」